

三菱UFJリサーチ&コンサルティング

アジア経済概況（2006年5月）

【目次】

・中華圏・韓国

- 1. 中国経済の概況・・・1～3月期の実質GDP成長率は10.2% ... p.1
- 2. 中国の主要指標解説：2005年国際収支統計のポイント ... p.3
- 3. 台湾経済の概況・・・輸出主導の景気回復が続く ... p.4
- 4. 韓国経済の概況・・・輸出堅調と消費持ち直しで緩やかに景気回復 ... p.5

・ASEAN・インド

- 1. タイ経済の概況・・・輸出・消費の堅調から緩やかな景気回復続く ... p.6
- 2. インドネシア経済の概況・・・1～3月期の成長率は4.6%に鈍化 ... p.7
- 3. マレーシア・フィリピン・シンガポールの主要経済指標 ... p.8
- 4. インド経済の概況・・・内外需の堅調を背景に景気の拡大が続く ... p.9
- 5. ASEAN経済の注目点・・・タイがリードする中国との人的交流の拡大 ... p.10

・アジア通貨・株価動向 ... p.11



三菱UFJリサーチ&コンサルティング

調査部

【お問い合わせ先】海外経済班

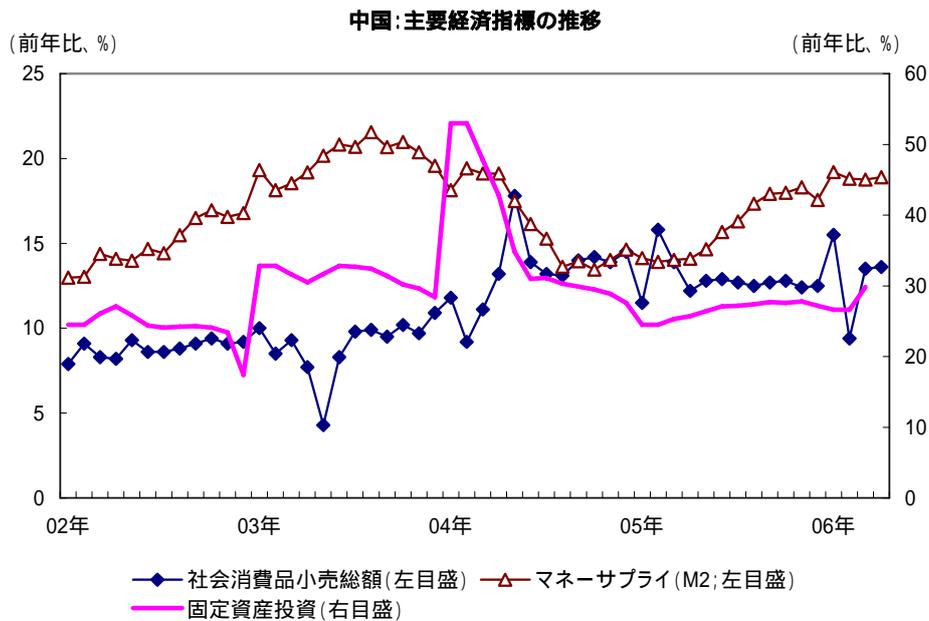
野田（E-Mail：mariko.noda@murc.jp）

本レポートに掲載された意見・予測等は資料作成時点の判断であり、今後予告なしに変更されることがあります。

・ 中華圏・韓国

1 . 中国経済の概況

- ・ 1～3月期の実質GDP成長率は前年同期比10.2%と前期(10～12月期)の同9.9%から加速。投資主導の景気拡大が続いている。
- ・ 都市部の投資額50万元以上の固定資産投資は1～3月期に前年同期比29.8%増と前期(同27.2%増)に比べて伸び率が一段と加速した。製造業の投資は、設備過剰業種に指定され、調整下にある鉄鋼業では前年同期比2.2%減となったものの、それ以外の業種では堅調な拡大が続いている。また、過熱懸念から引締め措置が取られ、昨年中央以降鈍化傾向にあった不動産部門の投資も、根強い需要を反映して1～3月期は同26.3%増と再び伸び率を高めている。1～3月期だけで1.26兆元と年間目標(2.5兆元)の5割を超えた銀行貸出がこうした投資の増勢を支えていると見られる。
- ・ こうした中で中国人民銀行は4月27日、貸出基準金利の引上げ(1年超の貸出については0.27%ポイント、6ヶ月物については0.18%ポイント)を行なうと同時に、銀行に対して貸出管理の徹底、貸出構成の最適化などを求める「窓口指導」会議(日刊中国通信参照)を開催。持続的発展のためにマクロコントロールを強化する姿勢を明らかにした。
- ・ 米財務省は5月10日に公表した「為替報告」で中国を『為替操作国』と名指しすることを再度、見送った。しかし、米国が人民元制度改革の現状に満足しているわけではなく、今後も人民元の一部の「柔軟化」を中国に求め続けると見られる。



(注)固定資産は年初からの累計の前年比、04年以降は都市部・投資額50万元以上のみ。
(出所)CEIC 他

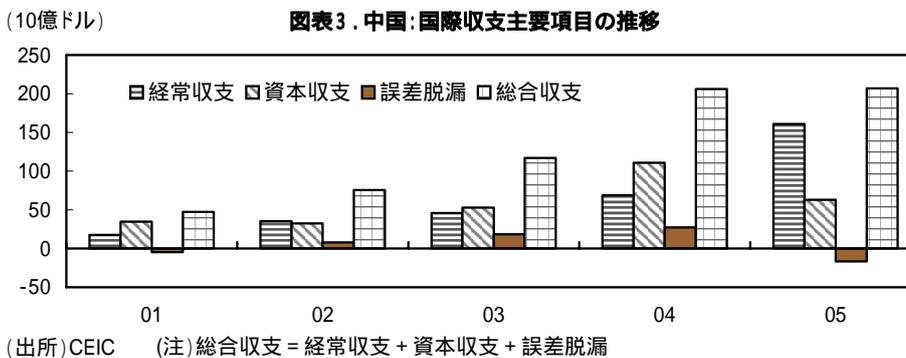
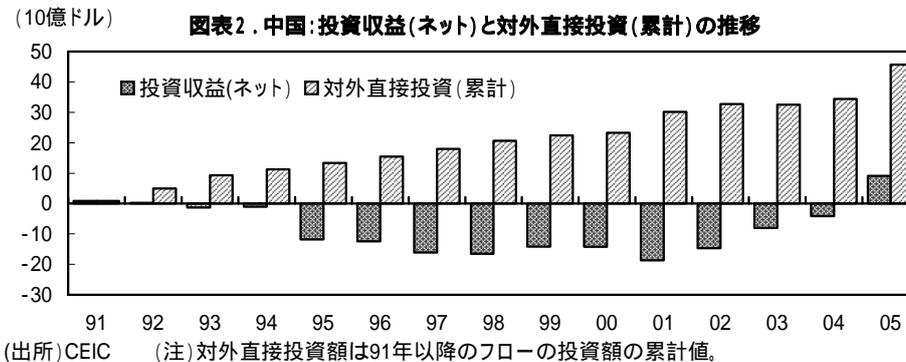
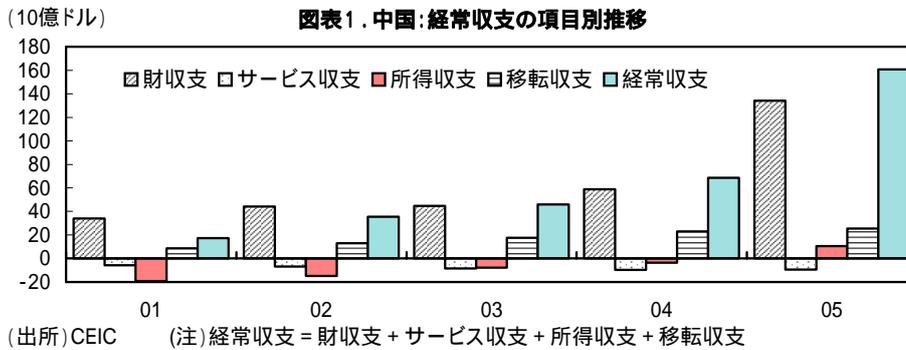
【中国・香港の主要経済指標】

			2003年	2004年	2005年	05/2Q	05/3Q	05/4Q	06/1Q	06/1月	06/2月	06/3月	06/4月	
中国	GDP	実質GDP成長率 (累計ベース)	前年比%	10.0	10.1	9.9	10.1	9.8	9.9	10.2				
		名目GDP成長率 (累計ベース)	前年比%	12.9	17.7	14.0	14.7	14.1	14.0	14.1				
	消費	社会消費品小売総額	前年比%	9.0	13.3	12.9	12.6	12.6	12.6	12.8	15.5	9.4	13.5	13.6
		うち市	前年比%	14.9	20.6	16.1	13.7	13.6	13.3	13.5	16.8	9.5	14.1	24.4
		うち県	前年比%	12.7	18.6	13.7	11.0	10.6	12.3	11.5	12.2	8.9	13.4	
		うち県以下	前年比%	9.2	12.8	12.7	10.3	10.6	10.5	11.6	13.4	9.2	12.0	
		自動車販売台数	前年比%	33.5	16.9	13.8	19.3	15.5	20.8	36.7	44.8	50.7	23.9	25.4
		うち乗用車	前年比%	71.5	19.3	21.5	26.6	32.0	35.8	66.6	93.2	75.6	43.2	48.9
		消費者自信指数	期中平均	93.1	92.9	94.2	94.5	94.4	93.9	94.1	94.5	93.6	94.2	
	消費者期待指数	期中平均	92.4	91.7	95.1	95.2	95.3	95.4	96.1	95.8	95.9	96.7		
	投資	固定資産投資 (都市部・50万円以上; 累計ベース)	前年比%	28.4	27.6	27.2	27.1	27.7	27.2	29.8		26.6	29.8	
		うち不動産・居住用建物	前年比%	29.7	25.3	19.6	20.0	19.5	19.6	26.3		24.3	26.3	
うち国内企業		前年比%				27.7	28.4	28.5	31.2		27.3	31.2		
うち製造業		前年比%				35.1	36.1	38.6	36.3		35.4	36.3		
うち鉄鋼		前年比%				18.6	23.4	27.5	2.2		0.9	2.2		
うち輸送機械		前年比%				46.9	47.7	51.1	43.8		53.1	43.8		
うち電気機械		前年比%				56.3	51.5	44.9	69.5		35.8	69.5		
うち情報通信機器		前年比%				32.3	19.1	18.2	33.7		36.7	33.7		
直接投資契約額 (累計ベース)		前年比%	39.0	33.4	23.2	19.0	21.8	23.2						
直接投資実行額 (累計ベース)		前年比%	1.4	13.3	0.5	3.2	2.1	0.5	6.4	11.0	7.8	6.4	5.8	
不動産景気指数	期中平均	107.1	105.8	101.9	102.2	101.7	100.8	101.1	100.8	101.1	101.5			
貿易 及び 外貨 準備	貿易収支	10億ドル	25.4	32.8	102.1	23.3	28.7	33.6	23.1	9.5	2.4	11.2	10.5	
	輸出 (ドルベース)	前年比%	34.6	35.4	28.4	30.9	29.1	21.7	26.5	28.0	22.2	28.2	23.8	
	輸入 (ドルベース)	前年比%	39.9	35.8	17.7	16.0	19.6	22.1	24.9	25.4	29.5	21.3	15.5	
	対米貿易収支	10億ドル	58.6	80.3	114.2	27.7	32.1	33.0	28.6	10.1	7.5	11.0	10.7	
	対日貿易収支	10億ドル	14.8	20.7	16.4	3.1	5.1	5.4	4.0	0.6	1.8	1.6	1.9	
	外貨準備	期末10億ドル	403.3	609.9	818.9	711.0	769.0	818.9	875.1	845.2	853.7	875.1		
	生産	鉱工業付加価値額	前年比%	16.7	16.3	15.9	16.5	16.2	16.4	15.9	9.8	20.1	17.8	
うち国有企業		前年比%	14.1	13.7	10.7	11.1	11.2	9.6	8.8	5.1	12.4	9.0		
うち株式企業		前年比%	18.0	16.6	17.3	18.8	17.7	16.9	16.3	10.6	20.2	18.1		
うち外商・港台企業		前年比%	19.6	18.5	15.8	15.1	16.7	17.6	18.5	10.3	24.9	20.4		
在庫額		前年比%	10.1	20.2	21.0	20.3	21.5	21.0	20.9		21.1	19.0		
うち鉱物		前年比%	2.8	20.8	42.4	39.0	40.6	45.0	43.7		45.0	42.4		
うち素材		前年比%	8.6	25.4	27.1	25.7	29.2	27.8	22.9		24.1	19.2		
うち機械	前年比%	17.9	19.5	16.7	16.4	16.2	15.5	16.1		16.1	16.7			
発電量	前年比%	14.2	15.0	13.4	13.7	13.6	11.8	13.4	7.8	22.5	11.4			
所得 雇用	都市家庭一人当たり所得	前年比%	12.0	11.8	11.8	12.4	12.4	10.8	12.4	16.4	10.1	11.6		
	鉱工業雇用者数	前年比%	11.9	7.2	8.8	9.3	10.3	10.6	10.1	11.4	11.4	8.1		
	労働力市場求人倍率	期末	0.88	0.94	0.96	0.95	0.97	0.96	0.96					
	製造業/全産業求人比率	期末%	31.6	31.9	30.8	31.9	32.0	30.8	36.6					
物価	消費者物価指数	前年比%	1.2	3.9	1.8	1.7	1.3	1.4	1.2	1.9	0.9	0.8	1.2	
	うち食品	前年比%	3.4	10.0	2.9	2.7	1.2	1.7	1.9	3.6	1.2	0.8	1.8	
	うち家庭設備・家庭用品	前年比%	2.6	1.4	0.1	0.3	0.2	0.5	0.6	0.6	0.6	0.6	0.7	
	生産者物価指数	前年比%	2.3	6.1	4.9	5.6	5.0	3.5	2.9	3.1	3.0	2.5	1.9	
金融	マネーサプライ (M2)	前年比%	19.6	14.9	17.6	14.8	17.2	18.0	18.9	19.2	18.8	18.8	18.9	
	インターバンク金利 (翌日物)	期中平均%	2.17	2.11	1.43	1.25	1.21	1.36	1.46	1.56	1.35	1.46	1.66	
	株価指数 (上海総合)	期末	1,497	1,267	1,161	1,081	1,156	1,161	1,298	1,258	1,299	1,298	1,440	
	為替レート (元/ドル)	期中平均	8.28	8.28	8.19	8.28	8.14	8.08	8.05	8.07	8.05	8.04	8.01	
	為替レート (円/元)	期中平均	14.0	13.1	13.4	13.0	13.7	14.5	14.5	14.3	14.6	14.6	14.6	
香港	GDP	実質GDP成長率	前年比%	3.2	8.6	7.3	7.3	8.3	7.6					
		うち民間消費	前年比%	0.9	7.3	3.7	2.7	4.1	3.7					
		うち固定資本形成	前年比%	0.9	3.0	3.9	4.9	2.8	7.5					
	名目GDP成長率	前年比%	3.4	4.7	7.0	6.7	8.5	7.9						
	消費	小売販売数量指数	前年比%	0.6	9.1	5.9	6.5	5.1	4.4	4.6	10.5	4.9	7.7	
	不動産	不動産価格指数	前年比%	12.0	26.7	18.0	22.5	20.3	8.1	1.0	5.8	0.9	-3.4	
		うち家屋160㎡超 (香港島)	前年比%	0.2	44.9	21.5	38.0	20.7	7.1	17.8	36.7	2.6	22.5	
	不動産販売取引件数 (香港域内)	前年比%	2.8	40.6	2.7	57.3	9.4	31.7	28.7	38.1	35.0	14.0		
	貿易	貿易収支	10億HKドル	66.5	93.7	81.4	26.6	11.3	17.4	36.9	4.4	23.0	18.2	
		輸出 (香港ドルベース)	前年比%	11.6	15.8	11.4	12.5	12.5	10.0	12.2	4.2	20.5	14.7	
輸入 (香港ドルベース)		前年比%	11.6	16.8	10.3	10.1	11.5	11.3	13.7	0.6	28.3	16.0		
物価	消費者物価指数	前年比%	2.6	0.4	1.1	0.8	1.4	1.8	2.0	2.6	1.6	1.8		
金融	マネーサプライ (M3)	期末%	8.3	8.6	5.2	8.2	8.2	5.2	8.6	6.8	8.8	8.6		
	ハンセン指数	期末%	12,576	14,230	14,876	14,201	15,429	14,876	15,805	15,753	15,918	15,805	16,661	

(出所) CEIC 他 (注) 不動産景気指数は05年より基準が改訂され、それ以前とは不連続。

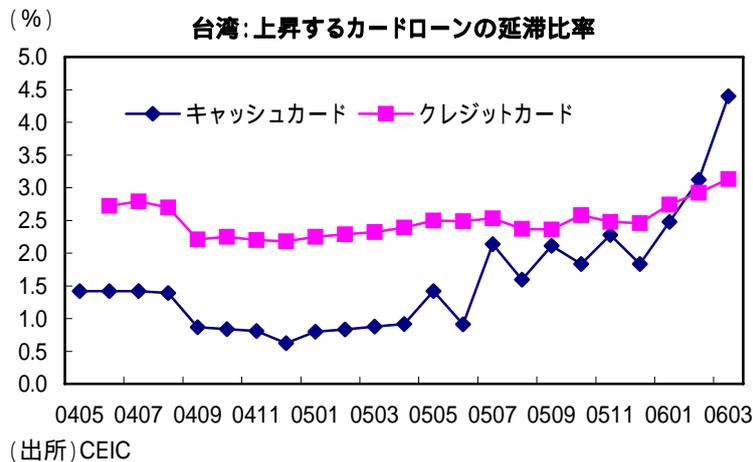
2. 中国の主要指標解説：2005年国際収支統計のポイント

- 2005年の国際収支統計が発表された。以下そのポイントについて解説しよう。
 財収支の黒字幅拡大を背景に05年の経常収支の黒字幅は1608億ドルと前年(687億ドル)の2.3倍に拡大した(図表1)。
 また、所得収支は経常収支項目の中では相対的に金額の小さな項目だが、05年には92年以降初めて黒字に転じた。中国の対外投資の拡大に伴う投資収益の拡大が一因と見られる(図表1、2)。
 その他投資収支の赤字化などから資本収支の黒字幅は前年の1107億ドルから630億ドルにほぼ半減。また、02年以降プラス(=資本流入)で推移していた誤差脱漏項目も05年に再びマイナス(=資本流出)に転じた。人民元切り上げ期待を背景に続いていた投機的と見られる資本の流入は05年7月の人民元改革実施を機に減退したようである(図表3)。



3. 台湾経済の概況

- ・ 輸出主導の景気回復が続いている。4月の輸出は、半導体など電子製品や精密機器などを中心に、中国、米国向けが堅調に拡大し、前年同月比14.4%増と1～3月期（同11.8%増）を上回った。また、3月の輸出受注額は電子製品、情報通信機器などを中心に前年同月比19.3%増と引続き高水準を維持しており、当面、輸出の高い伸びが続くと見られる。
- ・ 懸念材料は昨年後半以降、表面化したカードローンの多重債務者問題の消費への影響である。銀行が消費者ローンに対する審査を厳格化していることなどもあり、すでに自動車、バイク、パソコン、携帯電話などの売上に影響が出始めているようだ。しかし、景気回復を背景とした雇用環境の改善や物価の安定が消費を下支えすると見られる。



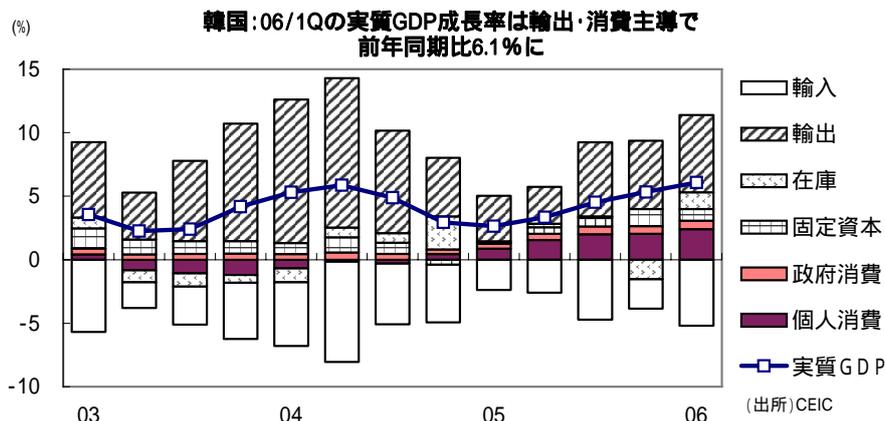
台湾の主要経済指標

		2003年	2004年	2005年	05/2Q	3Q	4Q	06/1Q	06/1月	06/2月	06/3月	06/4月
GDP (yoy)	実質GDP	3.4	6.1	4.1	3.0	4.4	6.4					
	うち民間消費	0.9	3.9	3.0	3.0	3.7	2.8					
	うち総固定資本形成 (うち民間企業)	0.9	17.5	0.5	7.4	0.3	11.8					
生産	鉱工業生産 (yoy)	7.1	9.8	4.1	1.5	4.8	9.1	8.1	4.1	14.1	7.2	
貿易及び 対外 関連	貿易収支 (10億ドル)	16.9	6.1	7.8	0.1	1.5	5.9	1.4	1.6	1.2	0.9	1.6
	輸出 (yoy)	10.4	20.7	8.8	6.0	7.1	14.2	11.8	5.1	25.8	8.0	14.4
	輸出受注 (yoy)	12.6	26.5	19.2	15.1	17.8	23.4	21.2	20.0	25.1	19.3	
	輸入 (yoy)	13.1	31.9	8.2	10.6	9.8	0.9	9.3	6.9	47.1	0.6	5.0
関連	経常収支 (10億ドル)	29.3	18.5	16.4	1.7	1.0	9.2					
	外貨準備高 (10億ドル)	207	242	253	254	254	253	257	257	257	257	259
雇用	失業率	5.0	4.4	4.1	4.1	4.3	4.0	3.9	3.8	3.9	3.9	
物価 金融	消費者物価 (yoy)	0.3	1.6	2.3	2.1	3.0	2.5	1.4	2.7	1.0	0.4	1.2
	M2 (yoy)	5.8	7.4	6.5	6.7	6.4	6.5	6.1	7.5	6.4	6.1	
	株価指数 (加権指数)	5,891	6,140	6,548	6,242	6,119	6,548	6,614	6,532	6,562	6,614	7,172
	短期金利 (オーバーナイト)	1.12	1.04	1.30	1.27	1.34	1.39	1.45	1.45	1.45	1.45	1.52
	為替レート (NTドル/ドル)	34.4	33.4	32.2	31.4	32.3	33.5	32.3	32.1	32.4	32.5	32.3
	為替レート (円/NTドル)	3.37	3.24	3.42	3.42	3.44	3.50	3.62	3.60	3.64	3.61	3.62

(出所)CEIC (注) yoy = 前年比 (%)、貿易統計は再輸出と再輸入を加算しない旧ベース。

4. 韓国経済の概況

- ・ 輸出の堅調持続と消費の持ち直しを背景に、緩やかな景気回復が続いている。
- ・ 1-3月期の実質GDPは、輸出と消費を中心とする内需の双方が堅調に拡大するバランスの良い形で、前年同期比6.1%と02年10-12月期(同7.8%)以降、最も高い成長率を記録した。1~3月期の高成長は前年同期の成長率が低かったことも一因だが、ウォン高にもかかわらず輸出が堅調を維持し、またカードバブル崩壊から持ち直しつつある消費を中心に内需の力強さが増していることが注目される。
- ・ 一段のウォン高にもかかわらず、4月の輸出は半導体、船舶などを中心に前年同月比12.0%増と二桁台の伸び率を維持した。また、4月の消費者物価上昇率は原油価格上昇の影響はあるものの、農産物価格の下落から前年同月比2.0%と安定圏内で推移している。こうした中で、韓国中銀は5月11日、ウォン高、原油高の実体経済への影響を見極めるため、政策金利を3カ月連続で4.00%に据置くことを決めた。



韓国の主要経済指標

		2003年	2004年	2005年	05/2Q	3Q	4Q	06/1Q	06/1月	06/2月	06/3月	06/4月
GDP (yoy)	実質GDP	3.1	4.7	4.0	3.3	4.5	5.3	6.1				
	うち民間消費支出	1.2	0.3	3.2	3.1	4.0	4.1	4.8				
	うち固定資本形成	4.0	2.1	2.3	1.8	2.3	4.7	3.2				
	うち設備	1.2	3.8	5.1	2.4	4.6	10.0	6.8				
生産	鉱工業生産 (yoy)	5.3	10.2	6.2	3.5	7.2	10.4	12.1	6.9	20.6	10.0	
消費	小売売上高 (数量, yoy)	1.8	0.7	3.6	3.3	3.3	6.0	3.5	9.5	2.7	3.7	
貿易及び対外関連	貿易収支 (10億ドル)	15.0	29.4	23.2	6.0	4.9	6.1	1.9	0.3	0.4	1.1	1.5
	輸出 (yoy)	19.3	31.0	12.0	9.0	15.4	11.4	10.6	3.5	16.6	12.2	12.0
	輸入 (yoy)	17.6	25.5	16.4	15.2	21.1	14.6	18.9	18.0	27.1	12.9	13.7
	経常収支 (10億ドル)	11.9	28.2	16.6	2.6	2.6	5.4	1.1	0.1	0.8	0.4	
雇用	失業率 (季節調整済み)	3.4	3.5	3.5	3.5	3.4	3.3	3.7	3.5	3.9	3.7	3.3
物価	消費者物価 (yoy)	3.5	3.6	2.8	3.0	2.4	2.5	2.4	2.8	2.3	2.0	2.0
金融	マネーサプライ (M2, yoy)	3.0	4.9	6.7	6.0	5.9	6.7		6.5	6.6		
	株価指数 (総合)	811	896	1,379	1,008	1,221	1,379	1,360	1,400	1,372	1,360	1,420
	為替レート (ウォン/ドル)	1,192	1,140	1,023	1,010	1,032	1,031	972	971	969	976	946
	為替レート (円/100ウォン)	9.6	9.5	10.8	10.7	10.9	11.4	12.1	12.1	12.0	12.1	12.1
	C/Dレート (3カ月物)	4.31	3.79	3.65	3.51	3.57	3.98	4.22	4.15	4.25	4.27	4.33

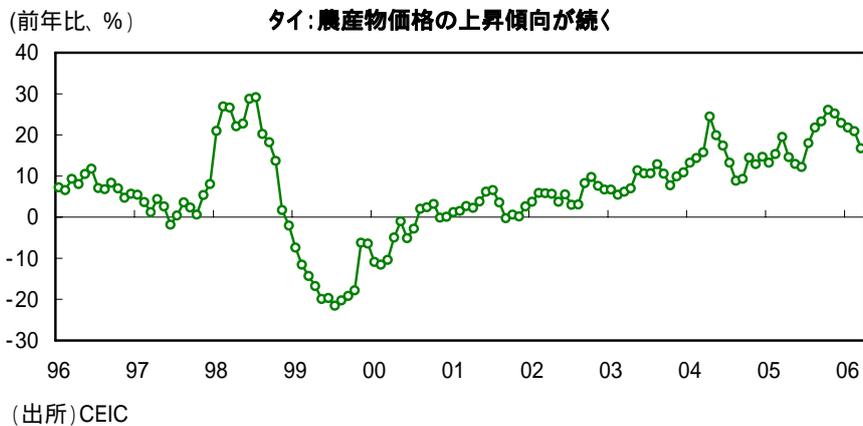
(出所) CEIC

(注) yoy = 前年比 (%)

ASEAN・インド

1. タイ経済の概況

- ・ 原油高や政局混乱にもかかわらず、輸出と消費の堅調を背景に緩やかな景気回復が続いている。3月の輸出は電子・電気製品、自動車及び同部品などを中心に前年同月比15.9%増となった。また、3月の総合消費指数は前年同月比3.6%増と前月(同1.0%減)から大幅に改善した。ゴム、米、砂糖きびなどの農産物の価格上昇により農業収入が拡大しているうえ、バンコク国際モーターショー開催の影響で乗用車の販売が好調であったことも消費拡大につながっている。
- ・ しかし、政局混乱により景気刺激策として期待されていた大型インフラ整備計画の実施が延期され、政府の成長率見通し(4.5~5.5%)達成は難しくなってきた。



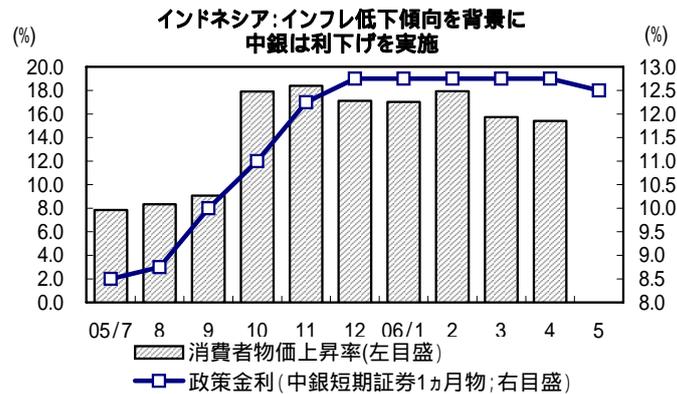
タイの主要経済指標

		2003年	2004年	2005年	05/2Q	3Q	4Q	06/1Q	06/1月	06/2月	06/3月	06/4月
GDP (yoy)	実質GDP	7.0	6.2	4.5	4.6	5.4	4.7					
	民間消費	6.4	5.9	4.4	4.7	4.5	4.0					
	総固定資本形成	12.1	13.8	11.3	14.3	8.4	7.9					
生産	製造業生産指数(yoy)	13.9	11.7	9.1	11.7	11.7	7.2	9.0	5.8	12.8	8.4	
消費	総合消費指数(yoy)	5.3	4.0	0.6	1.0	0.3	1.0	1.2	0.9	1.0	3.6	
投資	民間企業投資指数(yoy)	13.6	11.5	7.7	10.4	8.7	4.3	3.8	4.8	5.3	1.4	
輸出入	貿易収支(10億ドル)	5.2	2.7	7.7	5.2	0.7	0.3	0.4	0.4	0.3	0.3	
	輸出(yoy)	16.4	21.8	13.5	11.6	20.1	9.8	17.3	13.6	22.9	15.9	
	輸入(yoy)	16.6	26.6	24.8	34.0	18.7	18.7	6.4	1.8	18.5	1.0	
国際収支	経常収支(10億ドル)	8.0	6.9	3.7	4.5	1.2	0.9	1.7	0.5	0.7	0.5	
	外貨準備高(10億ドル)	42.1	49.8	52.1	48.4	49.8	52.1	55.3	53.2	54.4	55.3	57.2
雇用	失業率(季調前)	2.2	2.1	1.9	2.0	1.4	1.5	1.9	2.2	1.6	1.8	
物価	消費者物価(総合,yoy)	1.8	2.8	4.5	3.7	5.6	6.0	5.7	5.9	5.6	5.7	6.0
	消費者物価(コア,yoy)	0.1	0.4	1.6	1.1	2.2	2.4	2.6	2.5	2.7	2.6	2.9
金融	M2(yoy)	4.9	5.4	8.2	3.3	6.6	8.2	11.9	10.7	10.1	11.9	
	商銀貸出残高(yoy)	3.6	6.7	8.1	4.2	4.1	8.1	7.9	8.3	7.8	7.9	
	不良債権比率(3M基準,%)	12.7	10.7	8.2	10.3	9.9	8.2	8.0				
	株価指数(SET)	772	668	714	676	723	714	733	763	744	733	768
	為替レート(円/バーツ)	41.5	40.2	40.2	40.0	41.3	41.0	39.3	39.6	39.4	38.9	37.9
	為替レート(円/バーツ)	2.8	2.7	2.7	2.7	2.7	2.9	3.0	2.9	3.0	3.0	3.1
インターバンク金利(3M)	1.56	1.62	3.28	2.68	3.53	4.37	4.82	4.60	4.75	5.10	5.25	

(出所)CEIC (注)yoy=前年比(%)

2. インドネシア経済の概況

- ・ 1～3月期の実質 GDP 成長率は、輸出は堅調を持続したものの消費が鈍化したことから前年同期比 4.6%と前期より 0.3%pt 低下した。
- ・ 1～3月期の非石油・ガス輸出は電気機器、鉱物燃料、ゴム・ゴム製品などを中心に前年同期比 10.7%増と堅調に推移した。一方、輸入は製造業の不振を反映した原材料輸入の減少を背景に同 2.5%減と低迷。1～3月期の貿易収支は 91 億ドル（前年同期比 45%増）と前期に引続き大幅な黒字となった。
- ・ 一方、昨年 10 月の燃料価格の大幅引き上げを契機とする高インフレと高金利を背景に続いていた消費の減速に下げ止まり感が見えてきた。雇用・所得環境は依然、厳しいもののインフレに低下傾向が見えてきたことが一因と考えられる。
- ・ こうした中で、インドネシア中銀は 5 月 9 日、政策金利の引下げ（12.75% → 12.50%）を実施。インフレ動向次第では追加利下げの可能性も示唆されている。



インドネシアの主要経済指標

		2003年	2004年	2005年	05/2Q	3Q	4Q	06/1Q	06/1月	06/2月	06/3月	06/4月
GDP (yoy)	実質 GDP	4.8	5.1	5.6	5.6	5.6	4.9	4.6				
	民間消費支出	3.9	5.0	4.0	3.8	4.4	4.2	3.2				
	総固定資本形成	0.6	14.6	9.9	15.6	9.4	1.8	2.9				
生産	製造業生産 (yoy)	5.5	3.3	1.1	3.8	0.1	5.3					
消費	小売売上 (yoy)	7.0	7.3	16.1	27.3	10.6	1.2	23.5	23.8	25.8	20.7	
輸出入	貿易収支 (10億ドル)	28.5	25.1	28.0	6.0	6.6	9.1	9.1	3.2	2.8	3.1	
	輸出 (yoy)	6.8	17.2	19.7	24.2	12.0	13.9	12.5	23.3	15.2	1.1	
	(除く石油ガス, yoy)	5.2	18.0	18.8	26.9	8.1	10.7	10.7	16.8	13.5	2.9	
	輸入 (yoy)	4.0	42.9	24.0	38.3	22.8	6.3	2.5	6.5	5.3	16.2	
国際収支	経常収支 (10億ドル)	8.1	3.1	3.0	0.9	0.1	1.3					
	外貨準備高 (10億ドル)	36.3	36.3	34.7	33.9	30.3	34.7	40.1	35.1	35.5	40.1	
物価	消費者物価 (yoy)	6.8	6.1	10.5	7.6	8.4	17.8	16.9	17.0	17.9	15.7	15.4
金融	マネーサプライ (M2, yoy)	8.1	8.1	16.4	10.1	16.6	16.4	17.1	17.2	18.0	17.1	
	株価指数 (総合)	692	1,000	1,163	1,122	1,079	1,163	1,323	1,232	1,231	1,323	1,464
	為替レート (北アドル)	8,571	8,985	9,751	9,593	10,123	9,985	9,233	9,395	9,230	9,075	8,775
	為替レート (円/100北ア)	1.35	1.20	1.13	1.12	1.10	1.17	1.27	1.23	1.28	1.29	1.33
	中銀債金利 (3ヵ月)	10.17	7.39	9.16	7.79	8.98	12.58	12.86	12.92	12.92	12.73	12.74

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比 (%)

3. マレーシア、フィリピン、シンガポールの主要経済指標

【マレーシアの主要経済指標】

		2003年	2004年	2005年	05/2Q	3Q	4Q	06/1Q	06/1月	06/2月	06/3月	06/4月
GDP (yoy)	実質GDP	5.4	7.1	5.3	4.4	5.3	5.2					
	民間消費	6.6	10.5	9.2	7.4	10.4	9.0					
	総固定資本形成	2.7	3.1	4.7	6.7	9.6	0.4					
生産	鉱工業生産(yoy)	9.3	11.3	4.1	2.5	4.6	5.5	5.3	4.7	7.9	3.6	
輸出入	貿易収支(10億ドル)	21.4	21.2	26.4	6.0	6.2	7.6	6.9	2.3	2.0	2.6	
	輸出(yoy)	11.6	20.5	11.4	10.8	8.3	13.3	13.7	10.6	15.1	9.5	
	輸入(yoy)	4.8	25.9	8.9	8.0	9.4	8.1	16.0	9.3	18.0	14.0	
国際収支	経常収支(10億ドル)	13.3	14.9	19.9	17.9	18.8	17.8					
	外貨準備高(10億ドル)	45	67	70	75	80	70	74	71	72	74	76
雇用	失業率(%)	3.6	3.6	3.6	3.1	3.8	3.8					
物価	消費者物価(yoy)	1.1	1.4	3.1	3.0	3.4	3.4	3.8	3.2	3.2	4.8	
金融	マネーサプライ(M2,yoy)	11.1	25.4	15.4	32.2	24.2	15.4	15.2	16.7	17.5	15.2	
	貸出残高(yoy)	5.2	26.0	17.5	35.2	27.0	17.5	22.2	23.0	23.2	22.2	
	不良債権比率(3M基準,%)	8.9	7.5	5.8	6.7	6.1	5.8	5.7	5.9	5.9	5.7	
	株価指数(総合)	794	907	900	888	928	900	927	914	929	927	949
	為替レート(リキ/\$)	3.80	3.80	3.79	3.80	3.77	3.78	3.73	3.75	3.73	3.70	3.66
	為替レート(円/リキ)	30.5	28.5	29.1	28.3	29.5	31.0	31.4	30.8	31.6	31.7	32.0
	インタバンク金利(3M,%)	3.13	2.94	2.89	2.84	2.89	3.02	3.35	3.25	3.31	3.47	3.52

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)、鉱工業生産は05年以降、2000年 = 100基準。消費者物価は06年以降、2005年 = 100基準。

【フィリピンの主要経済指標】

		2003年	2004年	2005年	05/2Q	3Q	4Q	06/1Q	06/1月	06/2月	06/3月	06/4月
GDP (yoy)	実質GDP	4.5	6.0	5.1	5.2	4.5	6.1					
	民間消費支出	5.3	5.8	4.9	4.8	4.8	5.2					
	固定資本形成	2.3	4.2	3.0	3.9	2.1	1.4					
生産	鉱工業生産(yoy)	0.0	1.0	2.2	1.5	0.2	6.1		8.3	11.8		
輸出入	貿易収支(10億ドル)	4.2	4.4	6.2	2.2	1.7	1.3		0.4	0.1		
	輸出(yoy)	2.9	9.5	4.0	3.6	5.0	3.5	13.2	0.9	14.9	25.8	
	輸入(yoy)	3.1	8.8	7.7	8.9	10.2	12.9		5.0	4.6		
国際収支	経常収支(10億ドル)	0.3	1.6	2.4	0.3	0.3	1.1					
	外貨準備高(10億ドル)	14.1	14.6	17.7	16.7	17.7	17.7	20.2	19.8	19.9	20.2	20.3
物価	消費者物価(yoy)	3.5	6.0	7.7	8.2	7.1	6.9	7.3	6.7	7.6	7.6	7.1
金融	マネーサプライ(M2,yoy)	3.3	9.4	9.0	13.4	14.3	9.0		6.8			
	株価指数(総合)	1,442	1,823	2,096	1,924	1,942	2,096	2,196	2,145	2,123	2,196	2,271
	為替レート(ペソ/ドル)	54.4	56.2	55.0	54.9	56.1	54.0	51.9	52.3	52.1	51.3	51.8
	為替レート(円/ペソ)	2.13	1.93	2.00	1.96	1.98	2.17	2.25	2.21	2.26	2.29	2.26
	TB(3ヵ月,%)	5.87	7.32	6.10	6.18	5.71	5.48	5.02	4.91	5.16	5.00	4.74

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)

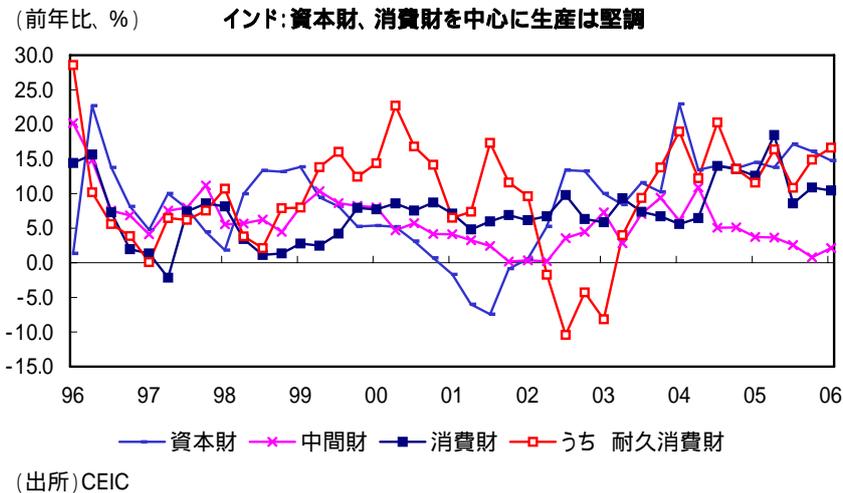
【シンガポールの主要経済指標】

		2003年	2004年	2005年	05/2Q	3Q	4Q	06/1Q	06/1月	06/2月	06/3月	06/4月
GDP (yoy)	実質GDP	2.9	8.7	6.4	5.7	7.6	8.7					
	民間消費	0.9	5.9	2.5	2.1	1.2	4.0					
	総固定資本形成	3.2	10.2	1.9	6.4	6.8	15.0					
生産	鉱工業生産(yoy)	3.0	13.5	9.4	5.9	12.6	14.7	20.5	5.9	31.2	25.0	
消費	小売売上指数(yoy)	8.7	13.2	9.0	11.6	10.2	7.9	7.8	0.6	11.3	12.8	
輸出入	貿易収支(10億ドル)	15.9	17.4	29.6	6.5	7.9	9.2	8.9	3.1	1.9	3.8	
	輸出(yoy)	16.9	25.0	25.5	25.2	27.3	22.5	23.0	18.2	30.0	20.1	
	輸入(yoy)	12.0	26.9	20.8	19.9	21.1	19.9	19.7	10.0	39.6	11.8	
国際収支	経常収支(10億ドル)	22.3	26.3	33.3	13.0	15.8	16.0					
	外貨準備高(10億ドル)	96	113	117	115	116	117	122	120	120	122	128
雇用	失業率(季調,%)	4.0	3.4	3.1	3.4	3.2	2.6	2.6				
物価	消費者物価(yoy)	0.5	1.7	0.5	0.1	0.5	1.1	1.4	1.7	1.2	1.2	
金融	マネーサプライ(M2,%)	8.1	6.2	6.2	4.6	8.3	6.2	8.1	6.6	8.3	8.1	
	株価指数(Sトレイト)	1,765	2,066	2,347	2,213	2,305	2,347	2,533	2,412	2,482	2,533	2,611
	為替レート(\$/S)	1.742	1.690	1.665	1.659	1.676	1.688	1.628	1.633	1.629	1.622	1.601
	為替レート(円/\$)	66.5	64.0	66.2	64.8	66.4	69.5	71.8	70.7	72.3	72.3	73.1
	インタバンク金利(3M,%)	0.74	1.05	2.29	2.08	2.15	3.02	3.40	3.38	3.38	3.44	3.42

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)

4. インド経済の概況

- ・ 内外需の堅調を背景に景気の拡大が続いている。3月の鉱工業生産は消費財（前年同月比12.2%増）中でも耐久消費財（同19.4%増）を中心に同7.7%増となった。前月（同8.8%増）に比べて伸び率はやや鈍化した。1～3月期で見れば前年同期比8.1%増と前期（同7.1%増）からさらに伸び率が高まっており、内外需の堅調が示唆される。
- ・ 実際、高成長の持続を背景に中間層の購買力が拡大しているとみられ、住宅、自動車販売等が好調である。ただし、こうした需要の拡大にインフラ整備が追いついておらず、都市の交通渋滞が深刻化するなどの問題が顕在化している。
- ・ 物価は安定基調にあるが、国際原油価格の上昇を国内販売価格に反映させない政府の物価政策に困るところが大きく、今後の政策動向が注目されている。



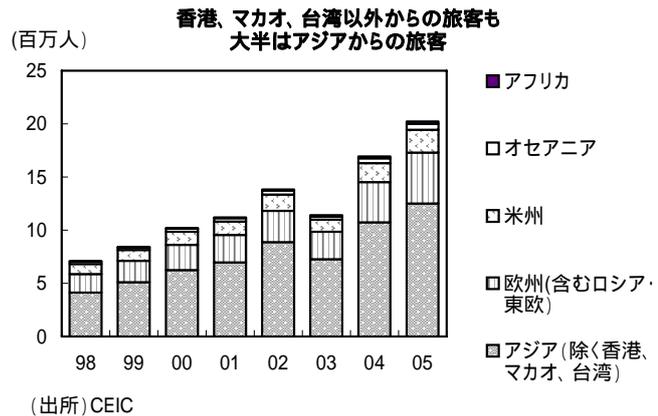
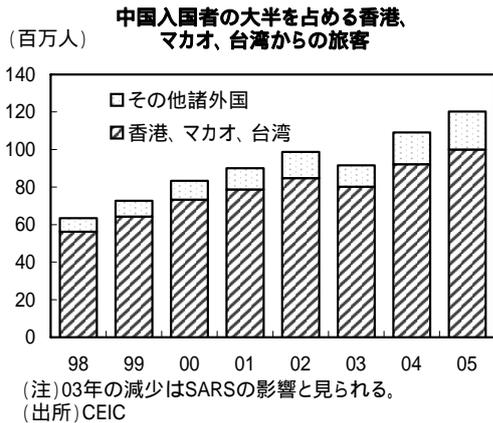
インドの主要経済指標

		2003年	2004年	2005年	05/2Q	3Q	4Q	06/1Q	06/1月	06/2月	06/3月	06/4月
GDP (yoy)	実質GDP	7.3	7.4	8.0	8.1	8.0	7.6					
	農業生産	5.2	2.8	2.3	1.4	2.4	3.4					
	実質GDP(年度)	8.5	7.5									
	農業生産(年度)	10.0	0.7									
生産	鉱工業生産(yoy)	6.6	8.5	7.9	10.4	6.5	7.1	8.1	7.9	8.8	7.7	
輸出入	貿易収支(10億ドル)	13.7	21.7	39.4	11.4	12.0	8.1	9.0	2.9	3.2	2.9	
	輸出(yoy)	16.7	31.5	25.9	30.0	28.1	26.7	19.6	25.7	12.3	20.6	
	輸入(yoy)	26.0	36.5	38.4	45.5	46.2	21.7	17.9	14.1	21.4	18.7	
国際収支	経常収支(10億ドル)	8.8	1.4	12.9	4.6	5.1	3.9					
	外貨準備高(10億ドル)	97.6	125.2	131.0	132.4	136.9	131.0	145.1	133.8	134.8	145.1	153.6
物価	卸売物価(yoy)	5.3	6.6	4.7	5.3	4.0	4.5	4.0	4.1	4.0	4.0	3.5
	消費者物価(yoy)	3.8	3.8	4.2	4.0	3.7	5.0		4.4			
金融	M3(yoy)	13.0	12.8	17.9	13.7	18.1	17.9	20.4	16.4	16.3	20.4	18.2
	株価指数(BSE Sensitive)	5,839	6,603	9,398	7,194	8,634	9,398	11,280	9,920	10,370	11,280	12,043
	為替レート(ルピー/ドル)	46.5	45.2	44.1	43.6	43.8	45.4	44.4	44.1	44.4	44.6	45.0
	為替レート(円/ルピー)	2.49	2.39	2.50	2.46	2.54	2.58	2.63	2.62	2.7	2.6	2.6
	TB3ヶ月	4.92	4.70	5.43	5.23	5.39	5.81	6.49	6.69	6.69	6.11	5.41

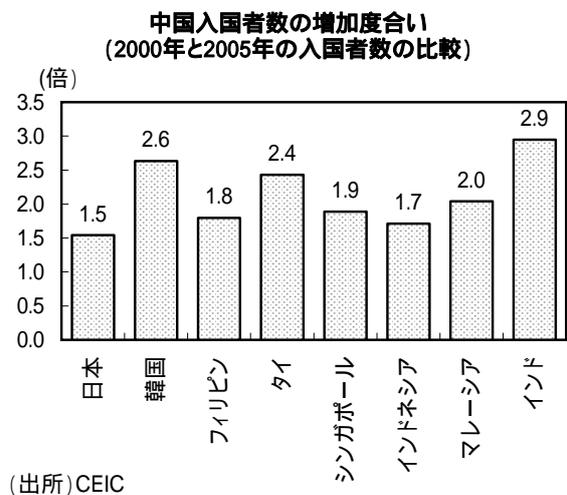
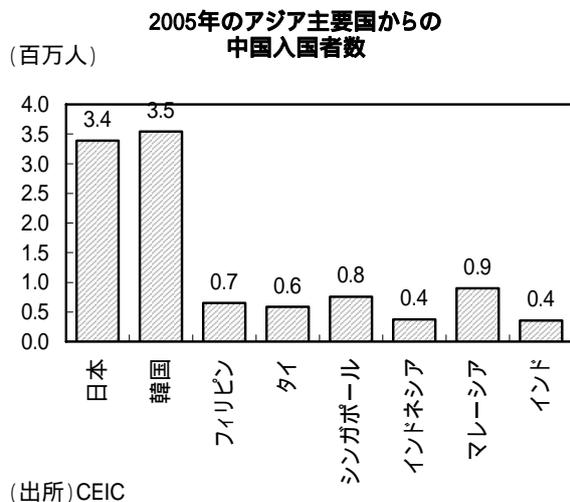
(出所)CEIC (注)yoy=前年比(%)、年度は4月から翌年3月

5. ASEAN経済の注目点～タイがリードする中国との人的交流の拡大

- ・ 中国の台頭は周辺アジア諸国にとって脅威であると同時にチャンスでもある。今回は人の動きから各国の中国に対するアプローチの相違を探ってみた。
- ・ 中国到着旅客の大半は当然のことながら中国経済と密接な関係のある香港、マカオ、台湾からの旅客が占める。そしてこれら3カ国・地域を除く諸外国からの旅客の大半は周辺アジア諸国からの旅客が占め、これにロシア・東欧を含む欧州が続く。



- ・ 05年の中国入国者数は昨今の韓国の積極的な対中進出を反映するように同国が日本を抜いてアジア主要国中トップとなっている。しかし、05年の入国者数が00年の何倍であるかを見てみると中印関係緊密化を示すようにインドが2.9倍と高く、次いで韓国、タイの順である。
- ・ 対中投資ブームに一服感の見える日本を尻目に韓国、インドはもとよりタイをはじめとするASEAN諸国も中国経済との関係強化姿勢を強めていることがうかがえる。

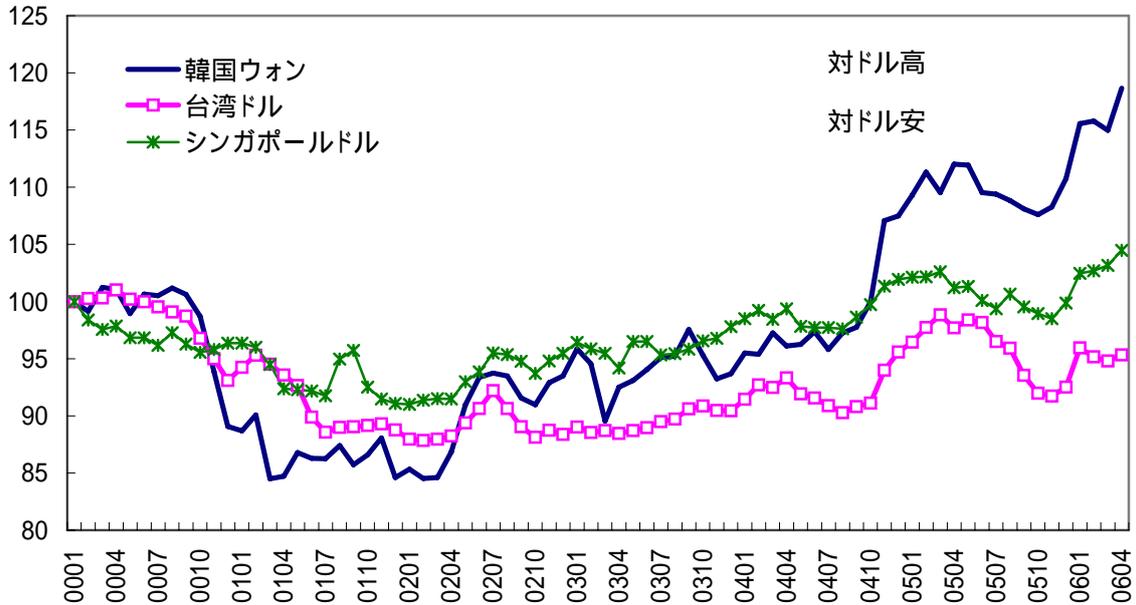


アジア通貨・株価動向

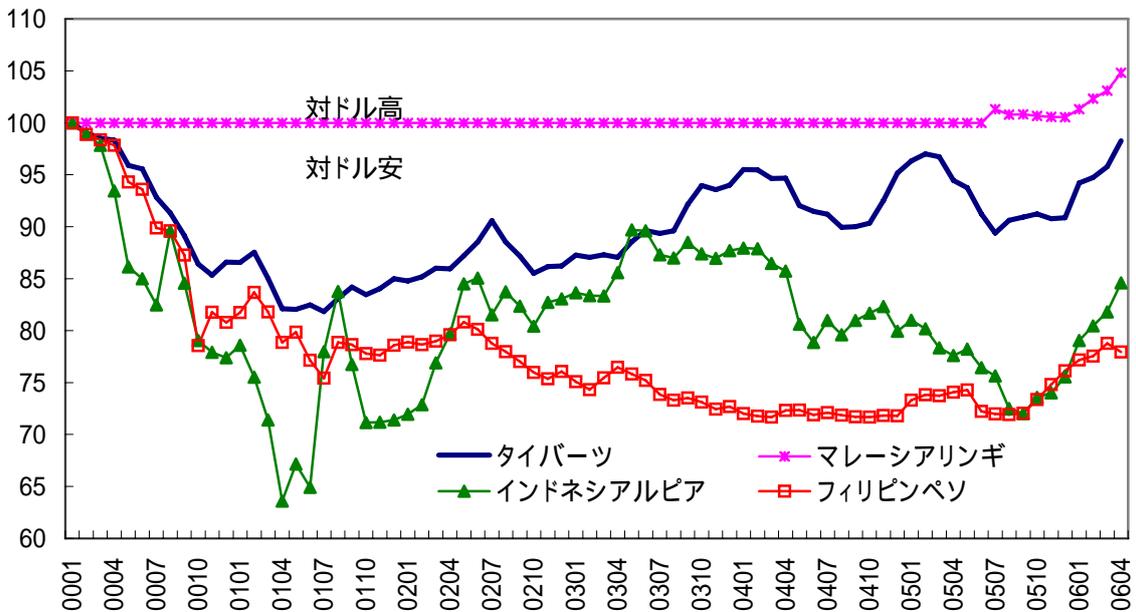
アジア通貨の対ドル相場の推移

< 2000年1月 = 100 >

(2000年1月 = 100)

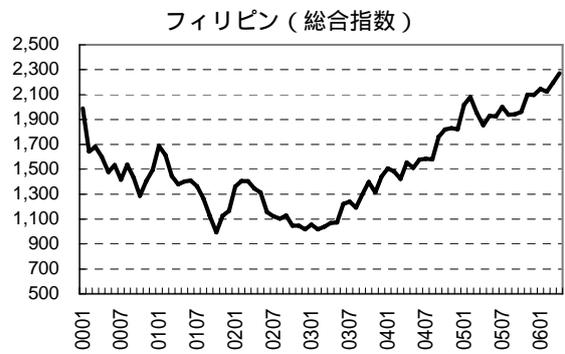
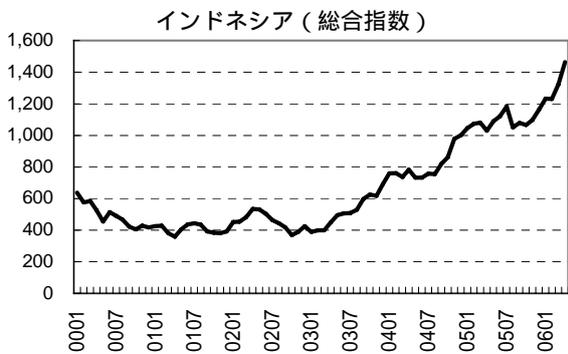
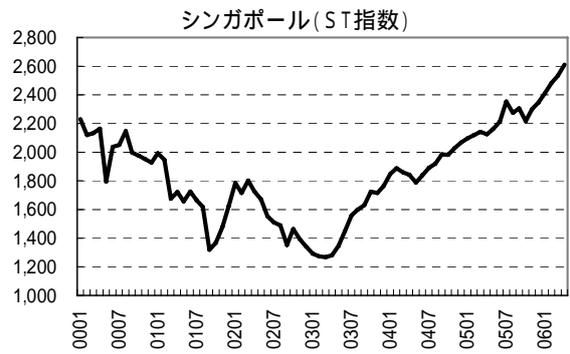
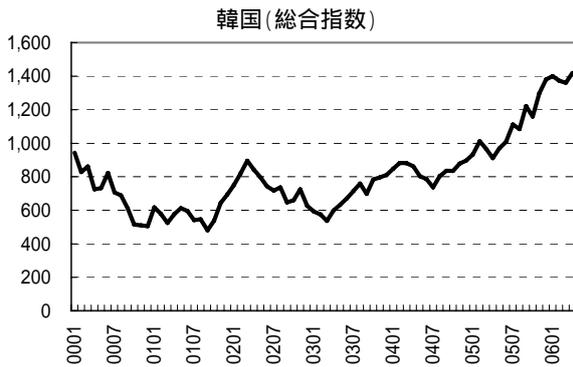


(2000年1月 = 100)



(出所) CEIC

アジア諸国の株価動向



(出所) CEIC